

小 集 会

1. 第8回栽培系・環境制御系融合型施設園芸研究

日時： 9月10日(金) 13:20～15:20

一般公開 <https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/83418305995?pwd=NHB2aG0zTG1VWUhlajNkTEILYXphdz09>

ミーティングID: 834 1830 5995 パスコード: 289756

世話人: 彦坂晶子(千葉大学園芸学研究院)

内容:

1. 「本小集会のこれまでの歩み」

東京大 富士原和宏

2. 「圃場研究を始めて感じた施設園芸へのwish list」

農研機構 村上貴一

3. テーマ別フリーディスカッション(当日会場で希望テーマを募り, 4～5テーマを設定)

明治大 岩崎泰永、農研機構野花研 道園美弦,
岐阜大 嶋津光鑑, 東京大 富士原和宏, 千葉大 彦坂晶子

2. 第2回アジサイ研究小集会

日時： 9月10日(金) 14:00～17:00

一般公開 <https://nihon-u-ac-jp.zoom.us/j/82901565385?pwd=Y0ZSTDFLY2RjeDQ5S2JLSdhdDhWEwUT09>

ミーティングID: 829 0156 5385 パスコード: 243927

世話人: 奈島賢児(日本大学生物資源科学部)

内容:

1. 「アジサイ公開ゲノム情報の解説」

日本大 奈島賢児

2. 「愛知県農業総合試験場におけるアジサイ栽培・育種の取り組み」

愛知県農総試 和田朋幸

3. 「フリーディスカッション」

3. 園芸作物バイオインフォマティクス入門3

日時： 9月10日(金) 15:00～17:00

一般公開 https://zoom.us/meeting/register/tJwvceCqj4tHd1F4e59hVSdX2H6_5Do9U4m

世話人: 白澤健太(かずさDNA 研究所)

内容:

1. 「NGS データを IGV で可視化してプライマーを設計する方法」

近大 平山文華

2. 「高次倍数体の SNP 検出」

京大 西山総一郎

3. 「果樹のゲノミックセレクション」

東京大 南川舞

4. 「画像解析」

東京大 郭威

4. 第9回結球野菜研究会

日時: 9月10日(金) 15:00~17:00

一般公開 <https://us02web.zoom.us/j/86268139356?pwd=TFBWRWg4ZlM2Y3Nnc0ZMa1ZwVzFVQ09>
ミーティングID: 862 6813 9356 パスコード: 848858

世話人: 高田敦之(神奈川県農業技術センター)

内容:

1. 「岐阜県結球野菜等の生産状況、高冷地におけるハウレンソウ栽培の状況と試験研究について」
岐阜県 高橋幸隆、岩腰翔太
2. 「ブロッコリーに関する海外情勢及び研究開発の動向について」
農研機構野花研 高橋徳
3. 「高冷地における耕種的手法によるキャベツ連作障害低減に関する一考察」
高崎健福大 岡部繭子
4. 「栽培管理のスマート化において考えるべきこと」
農研機構農環研 岡田邦彦

5. 第15回伝統園芸研究会

日時: 9月10日(金) 15:00~18:00

一般公開 <https://us02web.zoom.us/j/85871101955?pwd=T2p3dmtQSmUwQkU2bi9aT1oxS2RLQT09>
ミーティングID: 858 7110 1955 パスコード: 659004

世話人: 田中孝幸(東海大名誉教授)

内容:

1. 「カーネーションの品種改良の歴史」
農研機構野花研 小野崎隆
「花の品種改良の日本史」(柴田道夫編, 悠書館, 2016)の第2章に取りまとめた「カーネーション」に沿って, カーネーションの日本への導入, 日本自生のダイアンサス属野生種, 品種の変遷, 改良技術の進歩, 貢献度の高かった人物, 歴史社会的背景などに触れながら, カーネーションの品種改良の日本史を解説する。
2. 「三倍体センノウの起源と育種への利用」
龍谷大学 神戸敏成
センノウ(*Lychnis senno Siebold et Zucc.*)は600年以上前に中国から渡来したと考えられているナデシコ科の多年草で, 和名は京都の嵯峨野にあった仙翁寺に由来すると言われている。日本に現存するセンノウはすべて $2n=36$ の三倍体で希にしか結実しないが, これまでに獲得した自殖後代には様々な形質を持った個体が現れている。種間雑種育成のため, 近縁種との交配を行い胚珠培養を試みているが, これまでに得られた個体の全てが葉緑体欠損株であった。また, 三倍体センノウの起源を明らかにするため, 日本および中国原産のセンノウ属植物の葉緑体DNAの解析を行った。その結果は, 日本に現存する三倍体センノウは中国に自生する野生種を種子親とする植物であることを示唆していた。